

# 12月補正予算

【一般会計】	8,196万 7千円
【特別会計】	1億 252万 1千円
【企業会計】	3,679万 5千円
【補正総額】	2億 2,128万 3千円

※一般会計、特別会計、企業会計を合わせた予算総額の前年度同期比は、9.1%の増となります。

## 【一般会計補正予算の主な内容】

- ◎ 総務費…… 6,766万 9千円  
市内生活交通路線維持事業、天北線生活交通路線維持事業、知事及び道議会議員選挙、市長及び市議会議員選挙
- ◎ 職員費…… 2,647万円  
人事院勧告による給与改定等に伴う職員給与費及び諸費

### 移転 稚内大谷高等学校の

稚内大谷高等学校(以下、大谷高校)は、今年の夏休み明けとなる8月22日、旧北

れず、対前年比で約9千人が減少し、これらの影響もあり、離島フェリーは約3万7千人の減少となりました。  
全体的な観光動向は、以上のとおりですが、外国人の宿泊人数を見ると、約6千200人で15.5%の増、宿泊数は、約8千500泊で24.6%の増となっており、いずれも大きな伸びを示しています。  
特に、その約5割が台湾からの観光客で占められており、この台湾観光客のさらなる誘致のため、先月19・20日に、稚内外国人観光客誘致受入実行委員会と礼文島観光協会が行った「台湾プロモーション」に私も同行しました。現地では、道内空港に就航す



台湾での観光プロモーション

る航空会社、旅行会社等の訪問や、関係者への説明会を開催したほか、台湾外交部などを表敬し、稚内地区日台親善協会の設立報告を含め、当地域への継続した送客について要請を行い、い

ずれも来季に向けて好感触を得たところです。  
下期に入り、11月からは、稚内冬季観光振興実行委員会を中心に官民が連携した冬季観光振興の取り組みも始まっており、平成26年度全体の観光入込数の底上げに期待をしているところで



祝辞を読みあげる工藤市長

また、既に平成27年度の上期対策も併行して進め、先月から全国の旅行会社の企画担当者を招き、本市をはじめ、周辺自治体と連携して、この地域の魅力PRに取り組みんでいますし、また、この取り組みが道内旅行者の掘り起こしにもつながることを期待しています。  
さらに今後は、新千歳空港や旭川空港など、道内の他空港からの広域的な誘客対策の強化に加え、外国人観光客、特に台湾や他の東南アジア圏からの誘客を視野に入れた対策をより効果的に展開し、本市への観光入込客数の増加に努めていきます。

旭川空港など、道内の他空港からの広域的な誘客対策の強化に加え、外国人観光客、特に台湾や他の東南アジア圏からの誘客を視野に入れた対策をより効果的に展開し、本市への観光入込客数の増加に努めていきます。  
その中で、大谷高校から、教育環境の整備を図り、地域に貢献する人材の育成を一層推進するため、旧商工高校校舎に移転したい旨の要請があり、本来の学校施設としての再活用が最も望ましいとの判断から、関係機関と協議を進め、議会のご理解もいただき、旧商工高校の土地、建物一式を市が取得し、その一部を大谷高校に無償貸与しまし

た。  
高校再編による、旧商工高校の廃止が平成20年9月に決定されてから6年、市議会をはじめ、北海道や北海道教育委員会、あるいは地域の町内会など、大変多くの皆さんに支えられながら今日を迎えることができました。  
改めて、昨年、開校50年を迎えた大谷高校の新たな歴史のページが開かれたことを市民の皆様と共に、心から慶びあいたと考えています。  
また、大谷高校には、宗谷管内唯一の私立高校として、今後、同校の特色を活かした教育を実践するとともに、地域に恩返しができる学校で在り続けていただきたいと思っています。

### 第26回住生活月間功労者表彰の受賞

国土交通省は、毎年10月を「住生活月間」と定め、ゆとりある住居環境の実現、建物の質の向上などに対し、優れた活動や顕著な功績をあげた、個人または団体に対して、表彰を行っています。

今年度の住生活月間功労者表彰において、本市が平成15年度から24年度で施工した「市営宝来団地建替え事業」が「住宅局長表彰」を受賞しました。

受賞の要因としては、北海道内で初めて、共用廊下の照明などに自然エネルギーを活用したことや、宝来地区活動拠点センターの整備による新たなコミュニケーション環境の構築など、地域再生やまちなか居住の推進に寄与していること、稚内珪藻土をはじめとした地場産材の積極的活用による、地域経済活性化への貢献などが評価されたものです。  
市営宝来団地については、昨年度の「北の地域住宅賞」における北海道地域住宅協議会長賞に続き、2度目の受賞です。



稚内市を代表して表彰を受ける達副市長

表彰式は、10月11日に広島市において、高円宮妃殿下のご臨席のもと行われ、本市からは副市長が出席しました。  
この表彰を糧に、今後とも、地域の活性化のため、様々な観点から、公共施設の整備に努めなければならないと、気持ちを新たにしているところです。